

学校評価アンケートのお願い

お世話になっております。日頃より、本園の教育活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、表題の件について、下記の通りにアンケートを実施したいと思っております。より良い幼稚園運営の実現のために、改善を進めて行きたいと考えております。

記

- ・アンケートは、スマートキッズ内で行います。各御家庭で、システムにログインしていただき、アンケートから参加をお願い致します。
- ・アンケート期間は、3/10～3/17 になります。期間が短く申し訳ございませんが、宜しくお願いいたします。
- ・アンケートの入力にあたり、事前に行った園職員による自己評価を公開致します。園の自己評価をご覧いただきからアンケートへの参加をお願い致します。
- ・「職員による自己評価」「保護者の学校評価」の集計結果は、ホームページ上で公開する予定です。課題への対応のため、記名式になっておりますが、公開時ではお名前が出ることはありません。
- ・・・令和6年度 自己評価・・・

【評価段階】

4…よくできている 3…まあまあできている 2…あまりできていない 1…全くできていない

【評価表】

評価項目		内容	評価点		
			R4	R5	R6
保育の 計画性	園の理念 教育要領 教育課程	園の建学の精神や理念、教育目標を理解している	3.7	3.5	3.8
		教育要領を読み、園理念の理解とあわせて園長や主任と話し合う	2.3	2.5	2.6
		指導計画は、教育要領・教育課程そして園児の実態に即して作成し、周囲の状況や変化に対応できるものとしている	3.1	3.1	3.2
	環境構成	園児の健康に配慮した、安全で安心な清潔感のある環境を構成する	3.1	3.0	3.1
		園児が自発的に活動し、主体的に関わりたくなるような素材や遊具に配慮し、必要な数量を用意する	2.9	3.0	3.3
		園児の発達を見通し、心と身体のバランスがとれるよう、季節を考慮した活動と寛ぎにより、豊かな活動が展開できるよう配慮する	3.1	3.1	3.1
		園内外の自然への理解や、季節の変化に応じた環境の構成をする	3.0	3.4	3.8
	評価・反省	自己の保育についての評価・反省を様々な観点から行う	2.9	3.3	3.4
		自分の保育を評価・反省することで、園全体の保育に活かしている	3.0	3.4	3.5
園児への 対応	健康・安全	日頃から園内の危険箇所に配慮し、予測し対応する	3.1	3.4	3.9
		毎日の園児の健康視診を重視し、適時主任へ相談する	3.9	3.8	4.1
		事故やケガが発生した場合は迅速に適切な処置を行う	3.4	3.8	3.5
	幼児理解	園児一人ひとりをよく観察し、幼児の思いを受け止め、認めの言葉を中心にかかわる	3.1	3.8	4.1
		個々の成長発達をふまえ、園児一人ひとりの対応を工夫し、見通しを持って保育する	3.3	3.5	3.7
	指導	園児の思いや考えに共感し、受け入れた上で、道筋を示す	3.1	3.5	3.7
		規範意識・道徳性を培ううえで、モデルとなるよう心がける	3.1	3.6	3.3
		園児の年齢・発達に応じた指導や援助をする	3.4	3.6	3.1

保育者の 資質・ 能力	姿勢 能力 義務 組織	ふさわしい清潔感ある服装、髪型、身だしなみを心がける	3.4	3.4	3.9
		職務上の情報等の秘密を守秘する	4.0	4.0	4.1
		社会人の常識をわきまえ、行動する	3.6	3.6	3.6
		教職員組織の協調性を大切にし、チームとしての自覚を持つ	3.6	3.5	3.2
		率直な意見交換を行い、組織内の問題の共有化に努める	3.3	2.9	3.9
		当番や役割義務など、課せられた仕事は確実に行う	3.6	3.6	3.9
		教師としての感性・教養を深める	3.3	3.4	3.1
保護者へ の対応	対話 交流 苦情 対応	保護者に園児の様子を的確に伝える	3.6	3.5	3.1
		保護者からの相談や要望をよく聞くように心がける	3.9	3.8	4.1
		保護者との対応には公正さを信条とし、教師としての自覚を持った、丁寧で正確な言動を心がける	3.7	3.6	4.1
		電話での対応は、わかりやすく真摯な対応に努める	3.4	3.4	3.4
		保護者からの話して、自分で判断出来ない場合は、園長・主任等に報告、連絡、相談をする	4.0	3.9	4.1
		苦情の内容によっては教職員組織全体で共有化し、共通理解の上で対処する	3.9	3.6	3.1
地域・ 自然・ 社会との かかわり	地域	地域の自然や施設、行事等について理解し、利用する	2.3	1.9	3.1
		地域の住民に配慮した保育を行い、清掃を協力し、騒音を抑える努力をする	2.4	3.0	3.1
	幼小連携	小学校の教育内容について理解するよう努める	2.3	2.5	3.1
		地域の小学校行事や公開授業等に関心をもつ	1.7	2.0	2.6
	子育て支援	子育て支援や地域への開放について、内容を理解する	2.3	2.6	2.9
		教員としての知識を活用し、子育て支援や園庭開放へ取り組む	2.4	2.5	2.0
研修と 研究	研修や研究への 意欲・態度	研修に自己課題を持って積極的に参加する	2.6	3.0	3.1
		自分の保育について自己課題を持って、日常的に研究を怠らない	2.7	3.3	3.9
		自分の保育のあり方や悩みについて、他の保育者や主幹、園長に相談する	2.4	2.8	2.9
	保育者としての専門性に関する 研修や研究	幼児の発達に必要な知識を学び、現場に活かす研修・研究を行う	2.7	2.5	2.9
		記録の取り方、考察の仕方に関する研修・研究を行う	2.1	2.3	2.9
		教育課程や指導計画の理解と作成に関する研修・研究を行う	2.1	2.1	2.0
		幼児の発達を見通した環境構成や教材に関する研修・研究を行う	2.3	2.4	2.9
		保護者への対応に関する研修・研究を行う	2.0	2.8	2.9
		組織内の協力・連携に関する研修・研究を行う	2.3	2.4	2.0
	専門的課題に関する 研修や研究	アレルギー、成長の遅れ、問題のある幼児について研究し理解する	2.9	3.0	3.0
		預かり保育や子育て支援について研修や研究をする	2.3	2.6	3.1
		幼小連携の必要性や具体的方法について研修や研究をする	2.3	2.1	3.6
		子どもたちの安心・安全に関する、危機管理の必要性と対応について研修や研究をする	2.4	2.6	3.1

※地域の自然や施設とは、公園や博物館の公的機関や、商店等の民間の施設も含む。

※研究とは、書籍やネットで調べたり、目的をもった工夫された保育を行い、記録し総括を次に活かすこと

【総評】

教職員一人一人が学校評価の主旨を理解し、各自適切に自己点検、自己評価に取り組んでいる様子が見られた。今後も客観的な目で自らの教育、保育を振り返り、さらに充実した実践ができるように努力を積み重ねている。また、全職員が取り組むべき課題・結果について共通理解している。フィードバック、このような失敗を繰り返さないようにどうすれば良いのか、フィード・フォワード、どうすれば理想を実現できるのかを話し合い、本園としての方針を明確にし、実践している。今後も更に充実した実践が出来るように努めていきたい。

最低限の確認事項を課題として提示しているので、各教職員には子どもの状況に合わせて対応することや、日常の業務に流されずに個人個人が良く考えて行動するように取り組んでいる。また、当年度は2回であった教職員の自己評価を次年度も2回行うようにし、よりの確に現状を把握し、向上心を持って取り組んでいきたい

配慮が必要な子どもたちの療育先の指導者や医療関係者に園での様子を見学してもらった。見学後に意見交換し、療育先の見学も実施した。その後も連携して保育を行っている。また子どもの様子を共有したり、園長先生やカウンセラーに相談し、意見を取り入れながら関わった。配慮が必要な子どもが増えていく中で園内での共有だけでなく、外部機関のさらなる協力を得ながら保育に取り組んでいく必要がある。